

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	職員1人につき、1名から2名を担当制とし、毎月、担当者の状況をモニタリングしている。家族へは、面会時を利用して、日頃の状況を話しているが、うまく伝わらないこともあり、不十分なところもある。	モニタリングを元に、より詳しく日頃の状況を伝え、家族からの意見ももらいながら、今後のケアにつなげていく。	ひと月毎のモニタリング表を元に、大体月1回、家族へ状態報告をしていく。	6ヶ月
2	2	地域とつながりを持ち、日々暮していけるよう様々な努力はしているが、地域の人が施設へ来るという機会が少ないのが現状である。	地域の人とより交流を深め、施設へも訪問してもらえる様な関係づくりをしていく。	地域の行事へ参加したり、積極的に地域へ出かけていく。また、地域の人に気軽に足を運んでももらえる様な雰囲気作りや呼びかけに努める。	6～12ヶ月
3	4	運営推進委員会では、行政や民生委員に参加してもらっている。老人クラブからの委員選出は今のところは検討中である。	老人会との交流やグループホームへの理解を深めてもらえるようにする。	運営委員に老人クラブからも加わってもらう。また、行政等からもグループホームについて、情報発信してもらうよう依頼する。	6～12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。